

## **Riskified が日本での事業拡大を発表 合同会社 DMM.com や株式会社ギフトィ等の国内新規顧客を獲得**

e コマース不正取引防止およびリスクインテリジェンスのリーディング企業である Riskified (NYSE: RSKD) は、東京に事業所を設立し、アンソニー・グエルシオ(Anthony Guercio)をカンントリーマネージャーに任命したことを発表しました。グエルシオは、日本およびアジア太平洋地域で 20 年にわたりデジタル変革を実現してきた経験を活かし、日本企業が不正管理を自動化し、安全かつ収益性の高いオンラインビジネスを展開できるよう支援するという Riskified のミッションを担います。

日本国内の e コマース市場は、1,775 億ドルと世界第 4 位の B to C 市場となっています(引用: JP モルガン)。この分野の成長が詐欺を呼び、盗難クレジットカードに起因する被害は前年比 43%増となっています(引用: 日本消費者信用協会)。Riskified の機械学習プラットフォームは、グローバルな加盟店ネットワークを活用し、非対面取引の分析とリアルタイムの判定機能を提供し、承認率を引き上げ、オンライン収益を増加させることが可能になります。

日本における Riskified の成功事例として、3914 万人の会員数 (2022 年 2 月時点) を持つ日本最大級のエンターテインメント総合サイト「DMM.com」を運営する合同会社 DMM.com が、不正行為とチャージバック・コストからの保護を目的として Riskified の不正防止ソリューションであるチャージバック保証を採用しました。合同会社 DMM.com は、株式会社ギフトィを含む他の日本企業と同じく、Riskified のリスクインテリジェンスプラットフォームを採用し、完全にローカライズされたダッシュボードから不正防止に関する詳細な分析と洞察を行うことが可能です。

Riskified、日本担当カンントリーマネージャーであるアンソニー・グエルシオ(Anthony Guercio)は、次のように述べています。

「日本での存在感を高め、世界で最も勢いがある国境を越えた e コマース市場において、より多くの日本および世界中のマーチャントをサポートできることを嬉しく思います。Riskified の不正検知・防



止プラットフォームは、チャージバック保証サービスを通じて、不正の判定を 100%保証する優れた機能を持ち、同時に顧客のトップラインと顧客体験を向上させることができます。日本法人設立は、Riskified の日本に対する継続的な取り組みを示すものです。」

日本での活動開始にあたり、Riskified は 2 月 9 日、10 日に東京ビッグサイトで開催されるイーコマースフェア東京 2023 に出展します。Riskified ジャパンのチームは、顧客、パートナー、メディア、そして e コマース業界における不正行為の影響を軽減することに関心のあるすべての人を、ブース F10 で心よりお待ちしております。

## Riskified について

Riskified (NYSE:RSKD) は、e コマースの不正リスクを軽減することで、事業の収益と利益拡大をサポートします。世界最大規模の事業者様や一流ブランドは、Riskified と提携して、チャージバックに対する保証、販売ポリシーの悪用など、不正を包括的に防止し、顧客ロイヤルティを深めます。Riskified の機械学習を駆使したプラットフォームは、e コマース専門のリスクアナリスト、データサイエンティスト、研究者からなる業界最大級のチームによってサポートされており、各取引の背後にある個人を分析して、リアルタイムの不正判定と詳細なアイデンティティに基づくインサイトを提供します。詳しくは、[Riskified.com](https://riskified.com) や [日本語サイト](#) をご覧ください。

報道関係に関するお問い合わせ先：

担当：神谷

Riskified 広報事務局

e-mail: [riskified@jspin.co.jp](mailto:riskified@jspin.co.jp)